

## 日本青銅

# 本社オフィス大幅刷新

## 動線改善・福利面も拡充

青銅合金メーカーの日本青銅（本社「東京都荒川区、佐々木太志社長）はこのほど、本社オフィスの大掛かりなリフォームを行った。1階から3階までの内装を全て改修。間取りも変更して事務所内の動線を改善し、女性用休憩室なども刷新した。また、岡谷工場と24時間オンラインでつながる「Zoomルーム」を新たに設置し、会議室や役員室もオンライン環境を拡充。働き方改革の第一歩目として、働きやすさと効率性を追求したオフィスを完成させた。



佐々木社長

「社内環境を整えることで効率が良くなれば、会社の利益も上がっていくのでは」（佐々木社長）との考えや、今後の採用活動も見据えてリフォームを決め



新しくなった本社オフィス



ファミリーレストランのような会議スペース

た。リフォームにあたっては、快適さを追求して佐々木社長のアイデアを各所に散りほめた。会議室は大人数が入れる部屋のほか、ちょっとした打ち合わせに使えるようファミリーレストランのようなテーブルとソファを設置した会議スペースも設けた。社内のドアやルームの名前には青銅

合金の品種番号や会社の設立年月日をつけるなどこだわった。建屋の入り口には同社製の銅合金CAC406を原料に使用した鋳物製の看板を取り付けた。福利厚生にも配慮する。オフィス内では小さくBGMを流し、ウォーターサーバーを複数設置。女性用休憩室を用意し、男女別トイレも各階に設置して

女性社員が働きやすい

職場環境を整備した。防犯対策として入退室管理システムも取り入れた。3階のオフィススペースの片隅にはZoomルームとWeb会議システム用のスペース

を設置。モニターには岡谷工場の事務所が常時映っており、いちいち接続などしなくともすぐに現地の従業員と話せる。佐々木社長は「岡谷工場の従業員と一緒に働いている雰囲気を作れたかった」と話す。同社は事業の効率化を目的としたシステム導入などにこれまでも取り組んできた。昨春には「ベルフェイス」というオンライン商談システムを導入。商談件数がコロナ前から約1.5倍に増加した。